

広報おおき

No.500
2022
令和4年
11月号

こころ豊かな暮らしづくり・まちづくり

広報おおき 創刊500号 2~4ページ

令和3年度決算報告 6~9ページ

写真：大盛り上がりの「堀DAYミュージック2022」イベントステージ（18ページに関連記事）



おおき号

」も今月で500号を迎えました。創刊されて
皆さんの活動をお伝えしてきました。今回は
みと今後の取り組み、そして広報おおきを支え
します。



◀ 1986年12月号No.69号

当時の町の風物詩

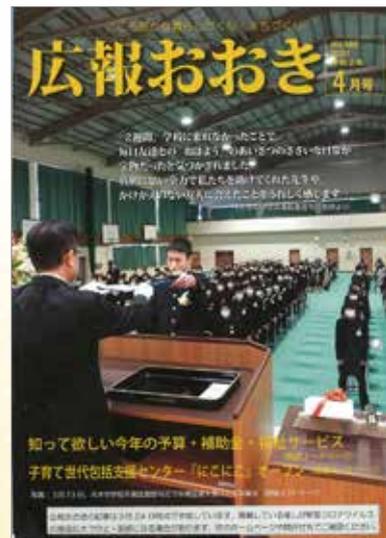
寒風吹きすさぶ冬の夜、い草の株分けを
手作業で行う「いご苗そろえ」



▲ 2004年6月号No.279号
大川市との合併協議の進捗報告



▲ 2011年9月号No.366号
道の駅おおきで開催された結婚式



▲ 2020年4月号No.469号
コロナ禍でマスク姿での卒業式

インタビュー

1986年（昭和61年）か
ら約5年間広報を担当し、表
紙のデザインを一新するなど、
今の広報おおきの土台を作っ
た益田富啓副町長に当時は振
り返っていただきました。

益田 副町長

入庁してすぐ広報担当にな
りました。新聞記者のように
走り回って締め切りに追われ
ていました。

当時、パソコンはもちろ
無いので全て手書きで記事を
書いていたし、写真もフィ
ムカメラで撮っていざ現像す
るとブレて使いものにならな
かったり。締め切り近くは印
刷会社に入り浸っていました。

近隣の市町村とお互いの広
報を見る機会があって、そこ
でもっと読んでもらえるよう
に変えていかなきゃダメだよ
なってなつたんです。町民の
方の写真をたくさん使った
り、興味を持ってもらえるよ
うな特集を組んだりして試行
錯誤していました。当時は役



場の中も新しい情報を出すこ
とに消極的で、中々協力して
もらえずによく職員とケンカ
していましたね。

今振り返って見てみると滅
茶苦茶な構成になっていたな
と思います。町民の皆さん
に手に取ってもらうにはどう
したらいいのかをずっと考え
ていました。その想いは今も
昔も変わらないんじゃないか
なと思います。



▶ 1988年1月号No.82号
締め切りに間に合わなくて急いで
副町長自身が描いた表紙

創刊 50 広報

1981年4月に創刊された、「広報おおき」40年余り、毎月欠かさず町の動きや町民の500号記念として、これまでの広報紙の歩みと、これからの広報紙の歩みについて、お話ししているボランティアの皆さんをご紹介します。

▶ 1982年5月号No.14号
役場に残る一番古い広報おおき。
これより前のものは、庁舎火災で消失してしまいました。
お持ちの方は、まちづくり課までご一報ください！



▲ 1992年11月号No.140号
大木町に手作りのゴジラが出現



▲ 1994年9月号No.162号
水不足で干し上がった花宗川



▲ 1998年2月号No.203号
町の絵本「みんなが暮らしの天才だった」完成

「広報おおき」のこれから

デジタル社会の進展に伴い、町の情報発信も、広報紙をはじめとする紙媒体から、インターネットやLINEなどデジタル媒体への移行が進んでいます。

そんなデジタル社会の中でも、実は広報紙は重要な役割を果たしています。

デジタル媒体の情報の多くは

積極的に情報を取り

りに行った人にし

かなか届きま

せん。その点、広

報紙は毎月1回各

家庭に届けられ、

自ら探さずとも町

の情報を幅広い世

代に届けることが

できます。また、

手元に置いておけ

るため、過去の

比較がしやすいな

どのメリットがあ

ります。今後は、

タイムリーな情報

発信が得意なデジ

タル媒体と比較や

保存に優れた紙媒

体を使い分け、内容に応じた適切な情報発信を行うことが重要となります。

広報おおきは紙媒体の特性を活かしながら、町民の皆さんが必要とする情報や、町の動き、頑張っている町民の紹介など、町と町民をつなぐ広報紙として、今後も進化を続けていきます。



「広報おおき」を作っているメンバーです

ボランティアの皆さんに支えられて

声の広報を届ける音訳ボランティア「そよかぜ」



ある平日夜7時。健康福祉棟のボランティア室に、音訳ボランティア団体「そよかぜ」の1班の皆さんが集まっています。「今度は私が1番目だから、最初のあいさつを入れますね」。声を吹き込む担当ページの原稿とレコーダーの配布を手際よくされます。広報おおきを毎号欠かさず

音訳され、「声の広報」として視覚障がいがある方へ届けている。「そよかぜ」の皆さん。現在、総勢14人、2班集体制で活動をされています。「声の広報」を聞いているリスナーは3人。毎回録音したCDをそよかぜの方が手渡しで届けています。

毎号、広報紙の原稿ができると健康福祉棟のボランティア室に集まり、担当ページの割り振りや集約日の確認などを行っています。

冒頭の季節のあいさつや、毎号最後のお楽しみとして随筆の紹介など、ちょっとしたお話を盛り込み、声だと伝えにくい図や写真には、独自の説明を加えるなど、全般通して暖かみのある言葉で声の広報を届けています。

「毎月、CDを楽しみに待っていていらっしゃいます。この活動で視覚障がいがある人との

出会いがあり、毎月CDを届ける時の会話が私の楽しみで、『今日は草取りしたよ』とか『花がきれいに咲いたね』などが私が見える感覚と同じ感覚で会話ができることに感動して。活動でお友達になれて本当よかったですと思います」と話されるのは田中節美さん。

メンバーの皆さんに活動に参加されたきっかけなどを尋ねると、「ボランティア活動をしたかと思っていた時に、声をかけていただいて、自分の家でできる活動だなど思っています。参加しました。声を吹き込む時には、犬の吠える声や家族の声掛け、夏はセミの鳴き声などの雑音が入らないように家族が寝静まった時間や、誰もいない時間帯などに吹き込んでいますよ。本当はAIの声がきれいなんでしょうけどね」とこやかに皆さんが話されています。実

は、リスナーの皆さんからは、ボランティアの方の生活の音が、親しみを感ずるという感想もいただいているそうです。



2019年1月号の広報で交流会の様子を取り上げました

コロナが流行る前は、リスナーとの交流会を開催し親睦を深めていたそう。リスナーからもらう感想や感謝のコメントが嬉しいといっています。

そよかぜでは現在、「声の広報」のリスナーを募集しています。興味がある人は大木町社会福祉協議会（☎0944・32・2423）までお気軽にご連絡ください。

男女共同参画社会の新しい朝が来た

～福岡県男女共同参画の日記念イベント～

福岡県は、11月の第4土曜日を「男女共同参画の日」に定めています。

町では、性別にかかわらず、共に暮らしやすい社会を考えるイベントを開催します。

☎まちづくり課（図書・情報センター内） ☎0944-32-1047

未来に向かってフレッシュ!! 模擬議会

- 日時 11月26日(土)10時～12時(受付9時30分)
- 場所 大木町役場3階議場 ※申込不要
- 議題一覧 新規就農、クリーク、健康づくり、
税金、医療費、食と農、給食費

中学生以上の町民が模擬議員となり、議会を体験します。町政・議会・町づくりに関心を深めていただく目的で実行委員会が開催します。ぜひ、ご参加ください。

あすばる男女共同参画フォーラム 基調講演中継

- 日時 11月26日(土)14時～15時
- 場所 子育て交流センター会議室(ZOOM配信中継)
- 特別ゲスト 脚本家 ^{おおもりみか}大森美香氏
- 演題 「みんなが嬉しい世の中のために」



大森美香氏

NHK連続テレビ小説「あさが来た」の主人公のモデルである女性の実業家のパイオニア ^{ひろおかあさこ}・広岡浅子の生き方を題材に、「あすばる」の神崎センター長がお話を伺うトークショーを中継します。

- 申込方法 右記QRコードまたは電話
- 申込締切 11月18日(金)
- 定員 20人



パープル&オレンジリボンキャンペーン

- 日程 11月1日(火)～30日(水)
- 場所 大木町役場1階ロビー、
大木町図書・情報センター、
子育て交流センター



女性に対する暴力根絶のシンボル「パープルリボン」と、虐待防止のシンボル「オレンジリボン」をつけたカードをツリーに飾っていきます。女性に対する暴力のない世界にするため、また、子どもたちの笑顔を守るためのメッセージをお寄せください。

～11月は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です～

11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。

配偶者等からの暴力、ストーカー行為などは人権を著しく侵害するものです。また、望まない性的な行為は、性暴力です。性暴力は、性別や年齢にかかわらず起こります。身近な人や交際相手、配偶者から被害を受けることもあります。

性犯罪や性暴力で悩んでいる方は、一人で悩まず、相談してください。

電話で相談

性暴力被害者支援センター・ふくおか
(年中無休)
☎092-409-8100

SNSで相談

Cure time
(キュアタイム)
<https://curetime.jp/>



令和3年度決算報告

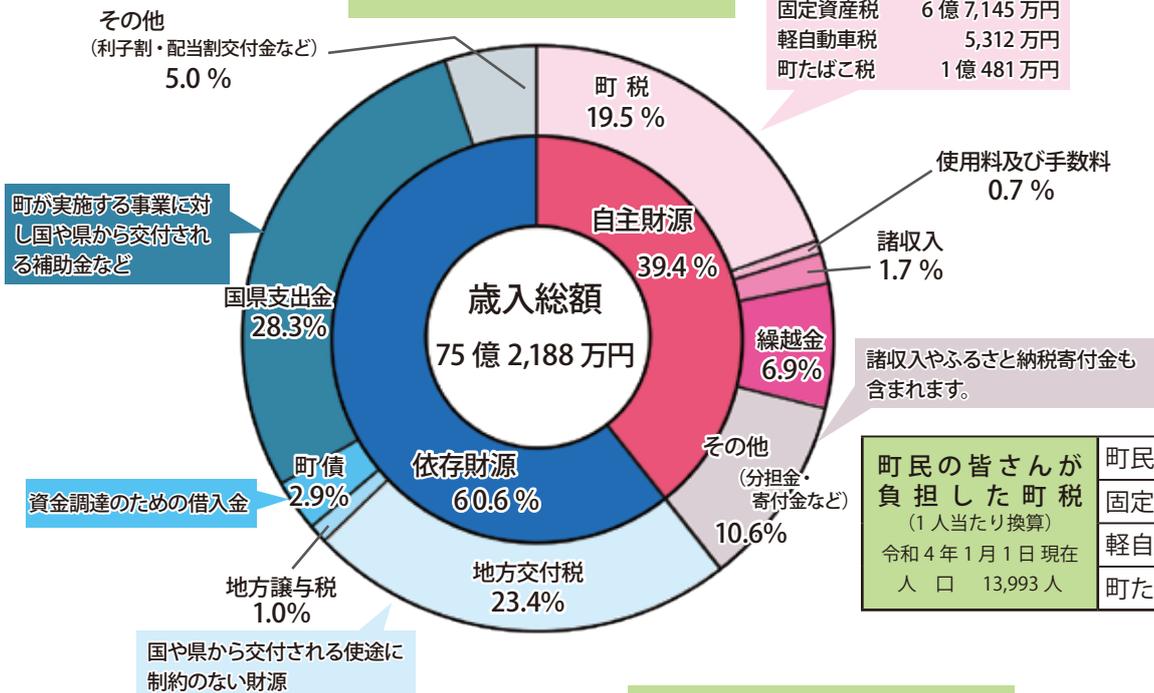
一般会計

歳入総額 **75億2,188万円** 前年比▲12.8%

歳出総額 **69億1,334万円** 前年比▲14.7%

歳入歳出差引額 6億854万円
 翌年度への繰越財源 9,443万円
 実質収支 5億1,411万円 前年比 5.5%

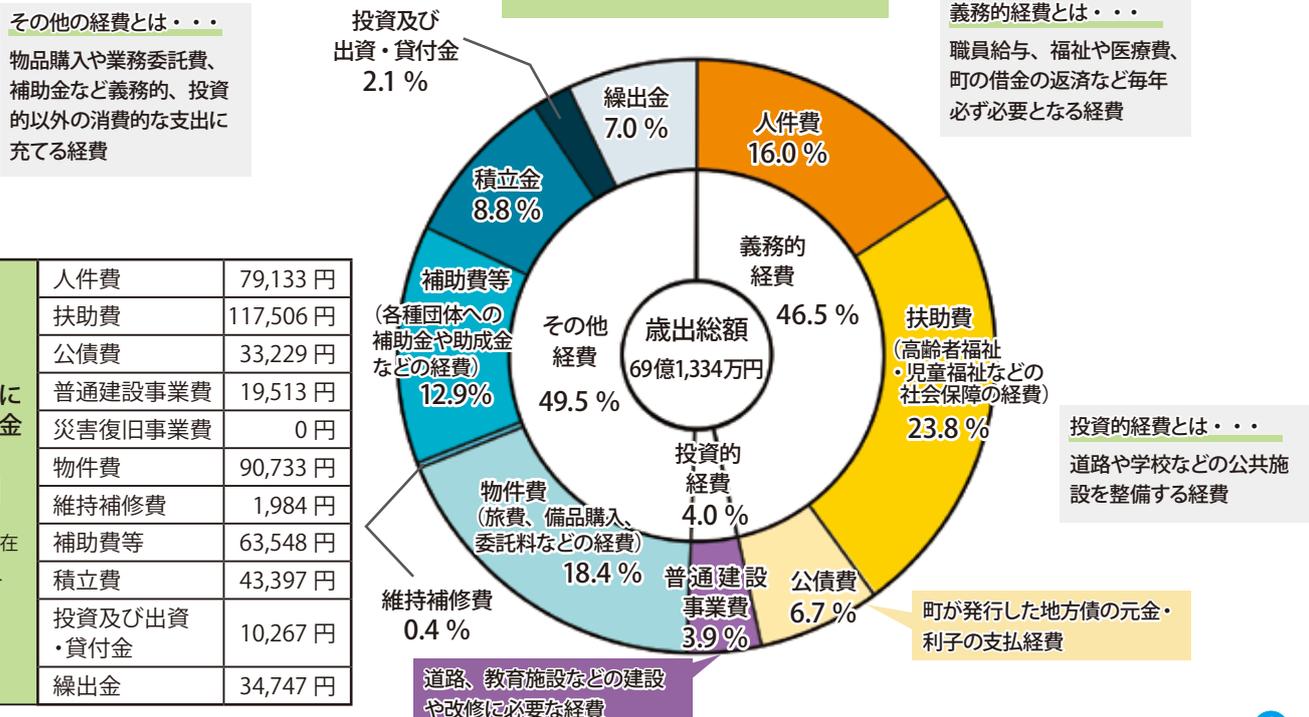
歳入決算額の構成



町民の皆さんが負担した町税 (1人当たり換算)	金額
町民税	4万5,791円
固定資産税	4万7,985円
軽自動車税	3,796円
町たばこ税	7,490円

令和4年1月1日現在
人口 13,993人

性質別歳出決算額の構成



町民の皆さんに使われたお金 (1人当たり換算)	
494,057円	
令和4年1月1日現在	人口 13,993人
人件費	79,133円
扶助費	117,506円
公債費	33,229円
普通建設事業費	19,513円
災害復旧事業費	0円
物件費	90,733円
維持補修費	1,984円
補助費等	63,548円
積立費	43,397円
投資及び出資・貸付金	10,267円
線出金	34,747円

基 本 理 念

住み続けたいと思える 持続可能な循環のまち おおき

町の将来像

地域と行政が協働でめざす町の将来像

めざす町の姿

地域と行政が具体的にめざす方向や活動の状態
質問内容に該当すると答えた割合が「めざす町の姿」の達成具合を評価する数値です。

事業

「めざす町の姿」に関する課題解決のため、政策・施策に基づいた事業を実施しています。

まちづくり
町民アンケート
で毎年評価



自治総合計画で目指している町の将来像の達成具合の評価や、町民の皆さんの意見をお伺いするため、令和3年度から令和9年度まで毎年アンケート調査を行います。
ここでは令和3年度の集計結果を抜粋してお知らせします。

令和3年度まちづくり町民アンケートの集計結果（抜粋）

町の将来像

未来につなぐ環境先進のまち

めざす町の姿

気候変動の緩和策・適応策を推進し、次世代への影響を残さないまちであること

評価指標（アンケート結果）

省エネ製品の利用を進め、再生可能エネルギー利用設備を導入している町民の割合

51.5%

令和5年度末（中間）目標 54.5%

令和9年度末（最終）目標 58.3%

令和3年度実施の主な事業

地球温暖化防止対策支援補助事業

（事業費：1,002万8千円）

太陽光発電や蓄電池設備の設置費用を一部助成し、地域の脱炭素化を推し進めました。

※電気自動車やネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）など、助成対象を拡大



町の将来像

人と経済の好循環で活力ある産業が育つまち

めざす町の姿

移住者、観光・関係人口が増加し、交流が活発に行われていること

評価指標 (アンケート結果)

転入する人が増え、転入した人が地域活動によく関わっていると感じる町民の割合 / 買い物、飲食、観光などで町を訪れる人が増えていると感じる町民の割合

16.2%

令和5年度末(中間)目標 23.9%

令和9年度末(最終)目標 30.3%

令和3年度実施の主な事業

超小型EV導入事業

(事業費: 301万3千円)

超小型EV車両6台をかんけい案内所に導入し、西鉄八丁牟田駅から町内各所への移動手段を提供できるようになりました。



町の将来像

子育てしやすく子どもが元気に輝くまち

めざす町の姿

みんなが支え合い、安心して子育てができること

評価指標 (アンケート結果)

子育てについて相談できる場所や機会を知っている町民の割合 / 働きながら子育てができる環境が整っていると感じる町民の割合

50.1%

令和5年度末(中間)目標 52.4%

令和9年度末(最終)目標 56.5%

令和3年度実施の主な事業

子ども支援(商品券)事業

(事業費: 3,232万3千円)

新型コロナの影響による経済的負担を軽減するため、町内店舗で使用できる商品券を子育て世帯に支給しました。



町民の皆さんからの 1意見

Q ごみの捨て方がわからない(分別の基準)

A ごみの捨て方(分別)は、町ホームページでご確認いただけます。また、大木町公式LINEでゴミの分別方法や収集日などが簡単に検索できますので、ぜひ公式LINE登録をお願いします。

大木町
公式LINE
QRコード



Q 水路の安全対策は?

A 水路の危険箇所の緊急点検を行い、転落防止柵・はしご、救命用具、注意看板を設置していますが、水路沿いは危険ですので転落事故に注意してください。また、堀の安全マップを作成し、各小・中学校による安全教育の強化に努めています。

町の将来像

だれもがいつまでも幸せに暮らせる健幸長寿のまち

めざす町の姿

生活に困ったときに頼れる人や相談する場所があること

評価指標 (アンケート結果)

困ったときに相談できる人や相談する場所があると感じている町民の割合

36.7%

令和5年度末(中間)目標 39.0%

令和9年度末(最終)目標 44.1%

令和3年度実施の主な事業

生活支援体制整備事業

(事業費: 1,993万3千円)

大木町社会福祉協議会へ事業委託し、生活支援コーディネーターの配置や、高齢者の買い物・移動支援などを行いました。

買い物支援の対象地区を拡大し、賑わう移動販売の様子▶



町の将来像

堀と自然が調和した暮らしの基盤が整ったまち

めざす町の姿

社会基盤がバランスよく整い、快適に暮らしていること

評価指標 (アンケート結果)

生活しやすい環境(道路、水道、公園、交通、情報通信設備)が整っていると感じる町民の割合

45%

令和5年度末(中間)目標 52.2%

令和9年度末(最終)目標 56.2%

令和3年度実施の主な事業

運動公園非接触型トイレ改修工事事業

(事業費: 811万3千円)

運動公園のトイレを改修し、手を触れずに使えるトイレや手洗い設備を導入しました。



全てのアンケート集計結果は、町のホームページからご覧いただけます

☎財務会計課 財政グループ
☎0944-32-1052

事業評価、町民アンケートの結果QRコード



また、降雨量予測に応じた雨水貯留容量の確保を図るため、筑後川下流域7市1町で広域的な先行排水を実施し浸水被害の軽減に努めています。

現在、下流側から十間橋まで約4.1kmが完成し、十間橋の上流約0.2kmの工事が行われています。

A 浸水被害が発生している山ノ井川の堤防嵩上げ工事は、令和5年度の完成を目指しています。現在、下流側から十間橋まで約4.1kmが完成し、十間橋の上流約0.2kmの工事が行われています。

Q 治水対策について

大木町の軒先より **おいしい** を込めて

地図 を片手にまちめぐり

大木町 のき さき 軒先

マルシェフェスタ

5月3日から始まった「軒先マルシェ」。これからは、年に数回、大々的なイベントとして「軒先マルシェフェスタ」として開催します。



お客さんも増えている侍島 (9日)



小川ミネ子さんの庭先



子ども向けの光箱ワークショップ



金・土曜販売のワテノブレッド

**軒先マルシェフェスタ
は
12月4日(日)
10:00 ~ 15:00
開催決定**

5月の「軒先マルシェ」でおこなったように、通常品物を販売しているところに加えて、その日だけ販売をする協力者の方々も一緒に大々的に「軒先マルシェフェスタ」として開催します。もちろん5000円まで6000円分の買い物ができる「プレミアムチケット」を限定販売する予定です。マルシェフェスタの詳細情報は、随時ホームページでお知らせします。



また侍島では「軒先マルシェin侍島東」と称したフリーマーケットを月1回のペースで続け、物品の販売に加えて絵本の読み聞かせやワークショップなどの企画が加わっています。

**今も
続いています
軒先マルシェ**

軒先マルシェを続けておられます。

今年5月3日の後も、野菜のある時期、あるところが目印の旗を掲げてそれぞれ自主的に

**販売協力者を
募集しています**

12月4日の「軒先マルシェフェスタ」に向けて、販売協力者を募集しています。「軒先マルシェフェスタ」当日だけの販売でも、その日でもかまいません。まずは、大木町かんけい案内所におたずねください。
080・9837・7663

大木町
かんけい
案内所
ホームページ
QRコード



第2回大木町リユースデーを開催します



日時 ① 11月27日(日) 14時～16時
② 12月4日(日) 14時～16時
場所 大木町環境プラザ(大木町横溝2734-1)

☎環境プラザ ☎0944-33-2202



リユース
Reuse
くり返し使おう

7月31日に大木町環境プラザで開催し、好評だった「大木町リユースデー」を再度開催します。このリユースデーは、「自分はもういらないけど、まだ十分に使えるもの」を町が無償で引き取り、連携する企業を介して次の使い手につなげる取り組みです。

前回開催した時は、利用された人から「ちょうど空き家になった実家を片付けているところだったので、とても助かった。」「まだ十分に使えるので、ごみにするにはもったいないと思っていた。このような取り組みがもっと増えるといい。」などの声があがっていました。

この機会にぜひ、自宅に眠っている「自分はもういらないけど、まだ十分に使えるもの」をお持ち込みください。次の使い手へつなげます。

【持ち込みできないもの】

- 壊れや破れ、欠品、ひどい汚れやカビがあるもの
- 布団、衣類
- リサイクル家電(冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、エアコン、テレビ)
- 蛍光灯・電池類(蛍光灯、乾電池、バッテリー)
- 個人情報機器(パソコン、携帯電話、スマートフォン、タブレット)
- 危険物等(油類、火薬類の発火物、燃料缶、土類、がれき類)

※リユース品には、次に使う人がいらっしゃいます。「次の人が使えて、使うのに不自由しないもの」をお持ち込みください。

※持ち込み基準の詳細はホームページで確認してください

持ち込み基準表PDF
QRコード



年末大掃除のポイント

早めに取り掛かる。

年末は何かと忙しいもの。早めに取り掛かることで、思い出も時間をかけて整理することができます。



一気にやらない。コツコツやる。

千里の道も一歩から。一つの部屋でも区切って取り組むなど、無理せず自分のペースで定期的に取り組みましょう。



本当に必要なものを見極める。

「いつか必要になるかも」の「いつか」はいつまでもたってもやってきません。いつまでも引きずらず、思い切って別れを告げましょう。

リユースショップなどを活用する。

自分には不要な物も誰かにとっては必要な物かもしれません。まだ十分に使える物は安易にごみにせず、リユースショップに持ち込むなどして次の人につなげましょう。

皆さん、年末の大掃除はいつ頃取り掛かっていますか？いざ始めると懐かしい品々を手にも昔の思い出に浸ってしまい、気づいたらもう夕方になっていたなど意外と計画通りにいかないことも多いのではないのでしょうか。人と同じく物への思い入れも手放すには時間がかかるものです。早め早めに取り掛かることで、今年をきれいに気持ちよく締めくくり、新たな気持ちで新年を迎えましょう。

☎まちづくり課 ☎0944・32・1120

年末の大掃除はお早めに

環境プラザへのごみの持ち込みはお早めに

年末の環境プラザは非常に混雑します。ごみは早めに持ち込んでください。